

令和3年度 山形県立長井高等学校 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

校 訓	万物我に備わる	教育目標	(1)健全な心身を育成しよう (2)高い知性と豊かな情操を培おう (3)社会の有為な形成者となるための諸能力を養おう	目指すもの	(1)文武両道を達成する生徒の育成 (2)主体的に将来の人生を設計できる生徒の育成 (3)21世紀の社会を創出できる生徒の育成 (4)地域に信頼される学校づくり
-----	---------	------	--	-------	---

自 己 評 価					学校関係者評価			
年度目標		年度評価(令和3年2月16日現在)			実施日:令和4年2月21日			
重点目標	具体的方策	評価項目	達成度	昨 年	自己評価に対する評価			
1. 自他の存在や生き方を尊重し、自立的・積極的に行動する態度の育成	①様々な教育活動を通し、豊かなことと望ましい人間関係を構築する。	人間関係形成能力の育成	AAA	A	A A B A B A B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における人間力向上のための各種講話や教員の生徒指導力向上のための研修会の実施。 ・生徒の主体性を育む諸活動の推進とリーダーの育成。 ・生徒会執行部を中心とした生徒による自治活動の更なる推進。 ・生徒の生活実態の掌握と効果的な生徒面談や教育相談の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な判断力や活動面において、昨年度よりA評価が多く成果と言える。生徒の姿や行動の結果として、目に見える形で三者が共有できたからと理解した。 ・教員から見て、生徒の社会ルールや生活習慣を守ろうとする意識が低下していることが気になる。保護者が集まる機会に周知したほうがよい。 ・コロナ禍により欠席や総体に対するハードルが下がっていると感じる事、保健室利用が多いことについては仕方ないことで、感染対策としてむしろ適切ではないか。悩みを抱える生徒については十分に支えて欲しい。 ・日常の教員の態度や声かけが必要だと思う。よろしく願う。 ・長井高校生は当地域の行政・民間企業等の様々な組織において重職につくことが多いことから、自分の考えや社会への対応能力が、今後益々求められる重要な教育目標のひとつだと考える。 	
	②自ら考え、判断し、変化や困難にも柔軟かつ確に対応できる力を育成する。	主体的な判断力・適応力の育成	AAB	A				B
	③部活動や生徒会活動などの主体的な活動を促進する。	主体性を育む部活動・生徒会活動の充実	AAA	A				B
	④家庭や地域と連携し、共通理解を図り、生活習慣や規範意識を確立する。	基本的生活習慣と規範意識の確立 組織的な指導	CAA	B				A
2. 「習得」「活用」「探究」による「確かな学力」の育成	①授業力向上に努め、「わかる授業」の徹底と、意欲・関心の喚起に努める。	授業改善	ABB	B	B B B B B D	<ul style="list-style-type: none"> ・自律した学習者の育成。 ・生徒の思考力・判断力を高める授業のための職員研修の実施。 ・ICTを利用した授業及び1人1台端末を利用した授業の研究。 ・探究活動での外部人材の活用。 ・読書の推進と、活用される図書館としての機能の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業の徹底は今後も税継続して欲しい。学習習慣について細やかに分析しているので展開に期待したい。目標と意欲の喚起を生徒一人ひとりに意識させて欲しい。 ・基礎学力育成を徹底的に行い、そのうえで探究・応用問題の習得にあてた方が学力向上につながるのではないかと。 ・昨年同様、応用力が伸び悩んでいるように見受けられる。また、基礎力の定着も十分とは言えない。学校として問題視し、具体的な対策を望む。 ・「高い知性と豊かな情操」には読書が欠かせない。活字離れなどと指摘されているが、「万物我に備はる」人物像として、読書する姿は「当然の事」と意識させたいものだ。 ・勉強や部活で忙しく読書の時間を取るのには難しいと思う。数か月に1回数十分程度、部活開始を遅らせ、読書や学びの時間を確保するなどし、自発的に行うことは困難と思う。 ・図書室は勉強の場との認識がある。忙しい毎日に読書に触れる機会を入れるには、本を教室に置くなど、今までとは違うアプローチが必要かと思う。 	
	②基礎学力の向上と応用力の伸長とともに、それらを活用する力を育成する。	教科と年次等分掌間の連携 基礎学力の定着	B	B				B
	③探究型学習を推進し、自ら学び主体的に課題を解決していく力を育成する。	個に応じた指導と家庭学習の充実	AB	B				B
	④図書館を有効利用し、読書や幅広い学習活動の促進に努める。	個に応じた指導と家庭学習の充実 主体的な学び 図書館の活用と読育	BBB	B				B
3. 広い視野と高い志を持ち、自己実現を図る態度の育成	①3年間を見通し、計画的・系統的なキャリア教育を推進する。	キャリア教育の推進と分掌間の連携強化	BBB	B	B B B B	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースの特性を活かした進路指導のあり方の検討。 ・計画的な個別面談の充実と家庭への進路情報の提供。 ・総合型・学校推薦型の定員増加に対応した進路指導の実践。 ・大学見学会や外部講師による進路講演会の効果的な活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究コースが設置されてからの学びが、成果となって表れているようだ。今後も充実した指導に期待する。 ・大学見学会が普通に行われるようになるといいのだが、今はオンラインで我慢し、来年度に期待する。面接や進路学習、ガイダンス等、力を入れていると思う。 ・「大学入学共通テスト」など新しい入試制度について、1年次から具体的な進路指導を行ってもらい、個々の目指す目標を、早い段階から意識付けすることが重要だと考える。 	
	②一人ひとりを大切に、個に応じたきめ細やかな指導に努める。	個に応じた進路指導体制の確立	B	B				B
	③新しい大学入試制度を踏まえた教科指導、進路指導を実践する。	積極的な進路情報の提供	BBB	B				B
	④互いに高め合い、果敢に挑戦する意欲と学び続ける態度の育成に努める。	自己実現のための環境作り	AB	B				B
4. 開かれた学校づくりと地域社会とつながる態度の育成	①ボランティア活動など、地域社会に積極的に参画する活動を促進する。	ボランティア・社会参加活動の推進	DDD	D	D C C C	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と地球に貢献する」という趣旨を踏まえると、ボランティアや地域貢献活動は当然の事と捉えられるような意識と活動が期待される。 ・ボランティア活動や地域社会に参画することは無理な状況だったと思う。1・2年生にとってはこういった機会を経験できず、とても残念である。 ・地域に貢献する人材育成について、見本となるモデルを参考として示してもらおうとよい。 ・ホームページ上に、生徒・保護者のページを作り、パスワード管理として運営する方法はどうか。保護者もスピード感をもって学校の情報が得られると思う。 ・学校連絡メールで、学校の方針や生活内容など知らせて欲しい。 ・大都市圏への人口流出が叫ばれて久しいが、学校側だけの問題ではなく、我々大人が考え、解決すべき問題である。地域の誇れるものを発見することが大事だと思う。 		
	②地域の伝統・文化や課題などについて考え、理解を深める学習の充実に努める。	地域学習と地域貢献の推進	BBC	B			C	
	③ホームページを活用し、本校の取組や教育活動を積極的に発信する。	通信や会報の活用	CB	C			B	
	④地域の期待や学校評価をもとに、教育活動の継続的な改善を図る。	学校評価のフィードバック	C	C			B	

達成度 **A(達成)**:アンケート結果の1+2評価が90%以上 **B(概ね達成)**:アンケート結果の1+2評価が70~89% **C(やや不十分)**:アンケート結果の1+2評価が50~69% **D(不十分)**:アンケート結果の1+2評価が50%未満

※自己評価は、今年度の重点目標の具体的方策についての達成度について、教員・生徒・保護者のアンケート調査を実施し、「1:十分である、2:まあまあ、3:やや足りない、4:足りない」の4段階で評価した結果です。